## 一般質問通告書(平成22年9月定例会)

氏 名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨	
1 9番 中村 有秀	「子宮頸がん」は、国内では年間約15,000人が発症し、約3,500人が死亡していると報道	
1 子宮頸がん予防のワクチン接種	されている。	
について	10代前半でワクチン接種をすれば、予防が可能な唯一の「がん」とされて、日本産科婦人科学会は	
(町 長)	特に11歳から14歳にワクチン接種を勧めている。	
	ワクチン接種と検診を組み合わせれば、子宮頸がんは大きく減らすことが出来るという。	
	ワクチンは3回接種して初めて十分な免疫ができる。1回の注射で費用は15,000円から20,	
	000円、3回で合計50,000円前後が必要とされている。	
	その接種を公費で全額負担または助成する市町村が増えており、「北海道保健福祉部健康安全局 健	
	│康づくりグループ」によると、道内179市町村のうち41市町村で公費助成を決め、6町は既に助成│	
	を始め、23市町村が本年度に実施を予定、12市町村が来年度以降に予定している。このほかに69	
	市町村が実施を検討している。	
	上富良野町で生まれ育ち、住んでいる女性または住んでいた女性が「子宮頸がん」を発症させないた	
	めにも、10代前半でのワクチン接種費用を町費負担で計画的に実施すべきと考える。当町の小・中学	
	校の女子在籍数各学年平均は54名であり、単年度に1学年生徒を全額負担50,000円で接種実施	
	には270万円の財政措置で出来ます。	
	国・道の動向を含め、町長の決断ある見解を求めます。	
2 町の情報共有ができない町内会	上富良野町自治基本条例が平成21年4月に、まちづくりの3原則は「情報共有」「参画と協働」「自	
未加入者対策について	助・共助・公助」として施行された。	
(町 長)	この「まちづくり3原則」の推進は、住民が居住する町内会そして住民会に加入される事が住民とし	
	ての情報共有・地域の住民協働による安心安全なまちづくりの原点でもあります。	
	町内会加入状況は、平成22年度「広報かみふらの6月号」に平成22年3月末で86.4%と記さ	
	れており、全道の町村の町内会加入状況は92.2%で当町の加入状況は約6%下がっています。	
	町内会未加入世帯13.6%は、世帯数で見ると600世帯以上になっている。	
	町の各種情報は様々な手段と方法で周知されていますが、その大きくウエイトを占めているのが、住	
	民会・町内会を経由しての各戸に回覧・配付される「広報かみふらの」「議会だより」を含めた町の情	
	報であります。	

町内会に未加入のため、町内会の回覧や配布がなく、情報共有ができない世帯が約600戸ある現状 に対し、町内会・住民会等は自主団体であるからと放任できない問題であります。

町も「上富良野町町政運営改善プラン22」で自治会組織の支援を掲げて、具体的な取組みとして自 主活動への支援4項目があるが、関係住民会・町内会と個別対策を含めた町の方針について伺う。併せ て「広報かみふらの」等の町内会長等への配達体制について伺う。

## 3 ト富良野町生活灯のLED化に ついて

上宮良野町の生活灯は、商業の振興に寄与し交诵安全・防犯等で街並みに配慮された「第1種生活灯」 が142基あり、電気料の70%が町が補助している。

(町 長)

「第2種生活灯」は、地域の交通安全及び防犯を目的として840基があり、電気料の50%が町が 補助している。

国及び道は、地球温暖化対策及び二酸化炭素(CO2)の削減に取り組みを始めている。

町も「上富良野町地域省エネルギービジョン」「上富良野町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」 「上富良野町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を平成22年2月から3月に策定し、その実践 を進めている。

発光ダイオード(LED)を使用した防犯街路灯は、白熱電球の40倍の6万時間の長寿命で、1年 間の電気料は50%から60%節電効果が高いとされている。

生活灯のLED化は初期の投資はかかるが、長寿命・省エネとCO2 削減に貢献すると共に、生活灯 電気料の町補助金と町内会負担と大幅に削減されるので、生活灯の計画的なLED化への取り組みを速 やかに進めるべきと考えるが町長の所見を伺う。

## 2番 村上 和子

1 地上デジタル放送への対応とし て難視聴地域への負担軽減を

平成23年7月より、現在のアナログ放送からデジタル対応に移行しアナログ放送は見られなくな ります。デジタル放送については、国の方針で変える訳ですから、基本的には国が解決すべき問題だと 考えますが、上富良野町では現在でも江花・江幌・日新・清富・旭野等これらの郡部の一部地域で難視 (町 長) | 聴地域があると聞いておりますが、町として総務省あるいはNHK等と連携し、調査等されているのか、 その状況について伺いたい。

> テレビの中継局を設置するのには多額の費用がかかると考えますが、こういった難視聴地域の方に とっては、個人負担の経費が重くのしかかると対応が難しく、テレビ放送が視聴できなくなるのではと 危惧をいたしておりますが、町としてはこういった難視聴地域に対して、負担軽減等の対策が取れない ものか伺いたい。

2 子宮頸がん予防ワクチンの接種	厚生労働省が2011年度政府予算で、子宮頸がんを予防するワクチン接種の助成事業を新たに設
費用の助成について	け、約150億円を盛り込むことになった。子宮頸がんは、10代前半のワクチン接種で予防ができる
	ひ、パイプの思いを思り込むことになりた。
	してれているが、質用は477 「3771」と3回の接種が必要とされている。同としては、ファテラ接種の     助成を行うとすれば、対象となる人数と総額はどれくらいになるのか試算してはどうか。町の公費負担
	助成を1) フと916は、対象となる人数と総額はと11、501になるのが試算してはとフが。町の公員負担   の考えはないか伺いたい。
2 京場老の社会的孤立を除びにむ	の考えはないが同いたい。   今日本における65歳以上の人口は2901万人、高齢化率は22.7%に達し、わが町も平成20
3 高齢者の社会的孤立を防ぐ行政	
を (MT = )	年は23.76%、この15年間で10.08%増加し、平成25年には後期高齢者が前期高齢者を上
(町 長)	回る見込みとなっている。今全国で、高齢者不在問題が取り上げられている。
	社会的孤立を防ぐために町では高齢者の実態把握はしっかりと出来ているのか伺いたい。例として、
	戸籍上は生存しているものの、住所登録を確認できないなどがあるのかないのか。
	民生委員の高齢化問題もあり、将来的に役割が大変であり、なり手がいなくなるのではと心配であ
	る。民生委員は現在30名、主任児童委員は2名で構成されているが、今年の改選期に2名増員を
	予定しているが、2名増員で対応できるのか伺いたい。
	地域包括支援センターの充実が必要ではないか。
	民生委員の権限も限界があり、基本的には高齢者の実態把握は地域包括支援センターが担うことに
	なると思うが、設置基準はどの様になっているのか。また、行政としても地域包括支援センターの
	充実が必要であると考えるが、町長の考えを伺いたい。
4 今年の全国学力テストの結果分	全国学力テストの結果が公表されましたが、今年の結果は昨年と比べてどのようなものであったの
析について	かその結果と分析について伺いたい。
(教育長)	テストの実施方式については、今年から抽出と自主参加の併用方式が望ましいということであるが、
	今後の町の取り組みについて伺いたい。
	児童生徒の独自の「学力向上プラン」を作成するということであるが、その内容と具体的な進め方
	などを伺いたい。また、このプランの指導強化は来年に備えるものになるのか伺いたい。
3 6番 今村 辰義	異常気象が地球規模で近年多発しており、昨年の冷湿害、今年の記録的な豪雨・異常高温と、全国的
1 異常気象による農業被害の救済	な異常気象により、わが国の農業関係も重大な被害を被っています。自然を相手にする農業経営の安定
を	に重大な障害となっている状況であり、わが町も例外ではありません。
(町 長)	この異常気象などによる農業被害の救済について町長の考えを伺いたい。
	- 10/01/07/07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 0

2	マイマイガなど	の害虫対策を	を
		(町	長)

今年もマイマイガが多発し、町民は幼虫(ブランコ虫)の駆除から始まってマイマイガに悩まされ怒りすら覚えました。線路から東側の旧国道沿いから神社前までの経路においてもマイマイガに悩まされた住民が個々にあるいは町内会で街路灯の交換を行いました。ただ一部元のままで景観が損なわれていると思います。観光の町として如何なものかと考えるが、どうでしょうか。

次に街路灯の交換経費は自己負担や町内会負担ですが、さかのぼって町で助成する考えはないでしょうか。

また、マイマイガは終息に向かっているとも聞きますが、新たに楠蚕が大量発生しています。来年以降の発生予想と町の対応はいかがでしょうか。

以上3点について町長にお伺いいたします。

## 4 7番 一色 美秀

1 年末(12月)にむけてプレミア ム商品券の発行を

(町 長)

2 ホップをかみふらの町のメイン 特産物にしては

(町 長)

景気は依然として不況より脱せず、購買力の低下、さらに地方に流出する消費に対し、地元での購入 と商店の活性化のため、プレミアム商品券を発行すべきと考えるが、町長に見解を伺いたい。

わが町の花ラベンダーは、全国的にどこでもあり、富田ファームに独占されている現在、もはや町花としての存在価値はなくなっている。

それに代わるわが町の特産品としてホップを主力として、全国的に売り出すべきである。そのメリットは3点ある。

国産のホップは非常に希少価値があり、生産されているのは、かみふらのを主として、わずかである。全国的にどこにもない生産物として主導権を得ることができる。

ホップはビールの原材料としてはもとより、化粧品、医薬品として効用が大であり、まだ未開発 にある。

サッポロビール㈱と町史的に長い取り引きがあり、将来に向けて相互協力することができる。 いま生産農家は3件だけである。1反当りの収益は大きいが、生産効率は、手間、ヒマがかかり非常に 悪い。まして高齢化や後継者の少ない現状にあって、今年限りで生産をやめる人もでてきている。

過去に120件ほどあった一大生産地も、いまや消えさろうとしている。いまこそ行政が救いの手を さしのべ、将来の方向性を定め、生産農家に意欲を与え、さらにかみふらの町の主たる農産物として全 国に発信すべきチャンスである。

この点について、町長の見解を伺いたい。

5 12番 佐川 典子	時代の流れはあまりにも急速で、特にインターネットによる通信サービスの普及は、情報のみならず
1 今後のブロードバンド事業の展	教育や文化、流通産業や農林産業・観光産業、医療などあらゆる様々な産業形態に浸透している。"高
開について	速で快適なインターネットを"と言う事で中富良野町、富良野市、占冠村、南富良野町など整備に取り
(町長)	組んでいる。上富良野町としてどんどん進めて欲しいところですが、今後のインターネットブロードバ
(+) (2)	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
	ンド事業の充実についてどの様に考えているのか伺いたいと思います。
2 男女共同参画社会について	男女共同参画社会基本法は、平成11年6月23日制定されてはや10年が経過している。激変する
(町 長)	経済悪化や温暖化による社会環境の変化や核家族化による子育ての孤立化、少子高齢化社会の到来、介
	護負担、賃金格差など、女性が社会に出る事への様々な弊害は、社会全体で取り組む問題で、自治基本
	条例で示した「協働のまちづくり」や第5次総合計画を目途とし、改めてこの基本法について考えるべ
	き狭間に来ていると思われている。基本理念第3条~第7条を踏まえ、わが町も地方公共団体として第
	9条に定めてある地方公共団体としての責務を果たすべきだと思いますが、男女共同参画計画の策定状
	況はどうなっているのか、町長に伺いたいと思います。
3 禁煙希望者が町で保険適用受け	
られる様に!	意思や努力だけでは治す事が困難な病気(ニコチン依存症)としてとらえ、専門的な治療が必要とする
(町 長)	考えに至っている。放置すれば重大な合併症を引き起こすなど将来における医療費抑制の観点から、2
( ) ( )	006年4月1日より禁煙治療に保険が適用されました。これを踏まえて、町立病院でも禁煙希望者が
	禁煙治療を受けられる様に、また保険の適用がなされるように病院体制の改善をする考えはないか伺い
	たいと思います。
6 11番 渡部 洋己	世界的な異常気象が上富良野を直撃と云っても、過言ではないほど、何度となく大雨が降り、道路・
1 高温・大雨による農業被害に対す	河川等土木施設の被害が270ケ所にも及び過去に例がないほどの被害で、その対応に追われていると
る対応は	ころでありますが、それと同じく、農業被害も過去に例が無いほどに多く、今後も被害が広がると思わ
(町長)	
	先日も、農業委員会と一緒に被害ヵ所を見たところですが、収穫皆無の所も見受けられ、農業者にと
	って大きな痛手で農業経営にも影響が出ると思われますが、町としても何らかの対応について伺いま
	す。

	ᄼᅟᄆᄼᆔᄼᄝᄼᅩᆓᄼᆣᆣ
2 日の出公園の位置付けについて	1、日の出公園の位置付けは。
(町 長)	ラベンダーの発祥の地として、沿線でもいち早くラベンダーを植え、町民を始め町外からも多くの観光
	客から親しまれた日の出公園が、近年は、観光客が年々減少しているように思われます。
	しかし、展望台からの景観はすばらしいものがあります。これを活かすため、町長は、今の日の出公
	園をどう位置付けているのか、伺います。
	2、日の出公園の整備計画は。
	日の出公園の展望台からの景観は、町全体360度見渡せるすばらしさがあります。しかし、7月の
	ラベンダー時期になると一般車両は、展望台への乗り入れが禁止され、展望台へは歩いて行かなければ
	ならず、そのことが観光客減少の大きな原因と思われます。
	ラベンダーの時期にも展望台まで車を乗り入れできるような整備が必要と思われるので町長の考え
	を伺います。
- 4	
7 4番 谷 忠	本町には、公設・私立を含め保育所・幼稚園が4ヶ所あり、それぞれ年間多額の一般財源を投資、同
1 保育所・幼稚園の一元化の考えに	じ幼児年齢を対象に保育、幼児教育が行われているが、幼保一元化問題は、現在二元化行政による幼児
ついて	教育行政の効率化、能率化が阻害されることが多い。
(町長)	近年の幼児数の減少化により、定員割が生じその結果、行政の出費がかさむことになる。保育制度改
(1.5 %)	革に関する意見書については、議員発議をもって両院議長、各関係大臣に提出したところです。内容は
	現行制度を基本に施策を拡充することを求めたものですが、一歩進んで町長の幼保一元化の考えを伺
	う。
	併せて、町立保育所運営費の総額に占める人件費の割合は何%か。
2 検討、協議事項のその後の経過に	昨年の1定で検討事項の報告との質問以来今日までの定例会、あるいは決算特別委員会、予算特別委
ついて	員会等で検討、協議しますとの答弁が多々見られるが、具体的に何点かの項目についてその後の経過に
(町 長)	ついて伺う。
	2 1年1定における1番議員の中学生に対する自治基本条例の説明に対し、新年度中に各学校と調整
	するとの答弁についてその後の経過は。
	12番議員の心の健康保持についての対策の質問に保健所と連携し早急に対策を進めるとあるがそ
	の後の相談経過は。
	2 1年2定における、5番議員の定住化促進の具体的対策についての質問に先進的事例を検討とある
	が、これまでの経過は。事例研究の進み具合は。

¥			ラベンダーハイツの民間移譲をやめるべきとの質問に、運営形態を検討するとあるが今日までの研究 内容を伺う。
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			緊急時に対応できる仕組みに努力するとあるが、仕組みの取り組み経過は。
			以上について検討努力の経過について伺う。
8	5番 米沢 義英		9月の定例会では、地方交付税が増額配分されたことにより交付税の増額補正が提案されています
1	地方交付税の運用について		が、これらの財源を町民の暮らしと福祉の向上に活用すべきではないかと考えますがいかがでしょう
			か。例えば、火災報知器の整備、未就職者への支援、学校や地域の遊具の設置、ヒブワクチン、子宮頸
	(町	長)	がん予防ワクチン接種への助成など、増額配分された交付税の運用のあり方を十分検討すべきだと考え
		区)	ますが対応について伺いたい。
2	国民健康保険税について		国民健康保険事業は他の健康保険に加入していない人が必ず加入する医療保険となっています。厳し
			い経済状況や国庫負担の削減などで自治体の財政や加入者の税の負担も大変になってきていますが、次
	<b>(</b>    T	長)	の項目について町の今後の対応について伺いたい。
			1、国民健康保険税の軽減対策について。
			2、他の自治体にも広がっている資産割の廃止について。
			3、国保法第44条は、低所得者の窓口負担の減免制度をつくるよう定めていますが、「恒常的な低
			所得」者に対する対応について。
3	温暖化対策について		町では、温暖化対策として地域省エネルギー計画などを策定しましたが、具体化をするための誘導策
			が求められていると考えますが、次の項目について伺いたい。
	(町	長)	1、住民への省エネルギーの取り組み方の周知について。
			2、住民の省エネ環境設備設置に対する補助金の導入など検討しては。
4	農業政策について		高温多湿や長雨などにより、農作物に少なくない被害が出ています。町における農作物の被害状況は
	(町	長)	どのようになっているのか、また、被害農家に対する救済の対策も必要になってくると考えますが今後
			の対応について伺いたい。